科研製薬株式会社
〒113-8650　東京都文京区本駒込2丁目28-8
●当情報に関するお問い合わせ先
医薬品情報サービス室　0120-519-874

褥瘡・皮膚潰瘍治療剤　フィブラストスプレー250/500について

褥瘡・皮膚潰瘍治療剤　フィブラストスプレーの作用および使用方法などについて紹介します。
フィブラストスプレーの箱の中には、薬剤入りのバイアル（凍結乾燥品）、溶解液、スプレーノズル、取扱説明書（患者向け）が入っています。
規格は、「フィブラストスプレー250」、「フィブラストスプレー500」の2種類があり、主成分のトラフェルミンをそれぞれ250μg、500μg含有しています。薬剤量の目安は最大径6cm以内の創面に対して、「フィブラストスプレー250」が1本で約1週間分、「フィブラストスプレー500」が1本で約2週間分となっています。

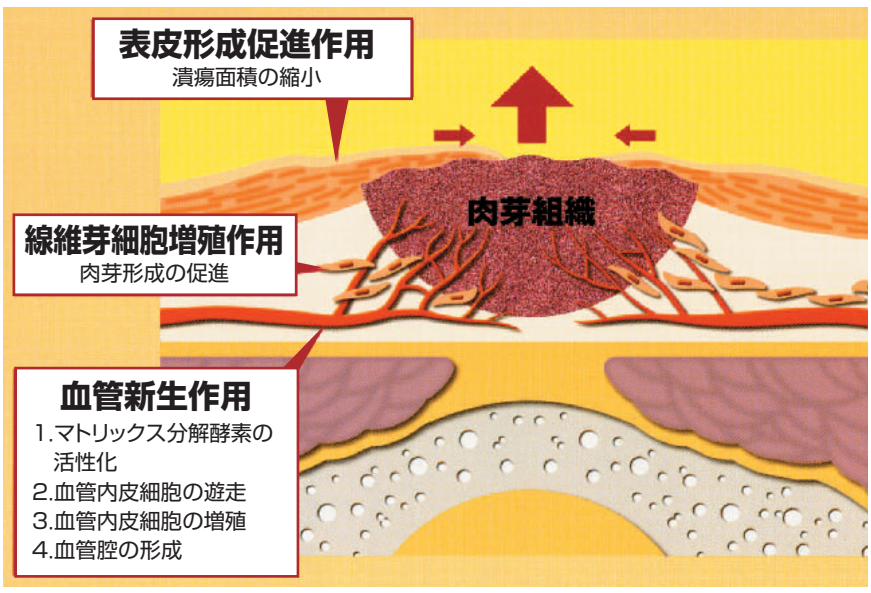
フィブラストスプレー250

フィブラストスプレー500

Q1 フィブラストスプレーの作用について教えてください。

A1 本剤の主成分であるヒト塩基性線維芽細胞増殖因子（basic fibroblast growth factor：bFGF）は生体内物質の一つで、創傷治癒を促進します。bFGFは線維芽細胞、血管内皮細胞および表皮細胞の増殖を促進する作用を有し、創傷部位における良性肉芽の形成および上皮化を促進することで、治癒期間を短縮させます（図1）。これらの作用は各細胞のFGF受容体を介した直接的な細胞増殖作用によるものです。また、最近bFGFが創傷治癒を促進するだけでなく、瘢痕の質を改善（治癒後の瘢痕組織が柔らかい、色素沈着が少ない等）し、創傷治癒の質（quality of wound healing：QOWH）を向上させることも明らかになってきています[1,2]。

図1　フィブラストスプレーの作用



1）Akita S.et al：Burns.31,855-858,2005
2）小浦場 祥夫 ほか：第33回日本熱傷学会総会・学術集会抄録集.116,2007

名　称　フィブラストスプレー250/500
一般名　トラフェルミン
日本標準商品分類番号　872699

	承認番号	薬価収載	販売開始	国際誕生
250	21300AMZ00387000	2001年6月	2001年6月	2001年4月
500	21300AMZ00388000	2001年6月	2001年6月	2001年4月

Q2 フィブラストスプレーの使い方について教えてください。

A2 本剤の使用方法は以下のとおりです。

① 患部および周辺を洗浄し、清拭します。

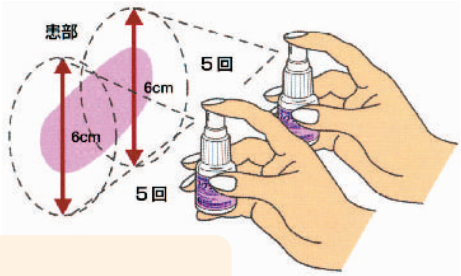
② 最大径6cm以内の患部には、1日1回、約5cm離して、5回スプレーしてください（図2）。
スプレー後は、30秒程度※静置し、患部を被覆材（Q4参照）で覆ってください。
なお、患部が6cmを超える場合は、最初のスプレー面に出来るだけ重ならないように、位置をずらしてスプレーしてください（図3）。

③ 使用後は、速やかに10℃以下の冷暗所（冷蔵庫など）に保存してください。

※　本剤が創面になじむのに必要な時間

図2　フィブラストスプレーの噴霧方法

図3　患部が大きい場合の噴霧方法



【ご使用に際しての留意点】

① 溶解後は、凍結を避けて10℃以下の冷暗所（冷蔵庫など）に保存してください。
② 溶解後は、薬剤の安定性の面から2週間以内に使用してください。
③ 目、鼻、口にはスプレーしないで下さい。万一、スプレーした場合は、水で洗い流してください。

Q3 フィブラストスプレーを他の外用剤（軟膏剤等）と併用する際の注意点は？

A3 本剤は創面の細胞の受容体に結合し作用するので、他の外用剤と併用する場合は、創面を洗浄清拭後、本剤を先に噴霧し、30秒程度静置した後他の外用剤を使用してください。

Q4 スプレー後の被覆方法について教えてください。

A4 創面の湿潤環境を保持できるように、非固着性ガーゼ、軟膏ガーゼあるいはフィルム材、ドレッシング材などで被覆して下さい。ドレッシング材は成分により特徴があるので、創面の状態（滲出液の量など）に適したものをご使用ください。

Q5 感染創に対する使用について教えてください。

A5 感染創の場合、感染に対する治療を優先してください。創部に良性肉芽がみえはじめたら、医師等による壊死組織のデブリードマンを行った後、本剤を使用してください。

Q6 フィブラストスプレーが有効な投与時期について教えてください。

A6 本剤は、線維芽細胞増殖作用、血管新生作用および表皮形成促進作用を有することから、創面に良性肉芽がみえはじめたときから上皮化の完了までが、最も有効な投与時期です。
なお、約4週間投与しても改善傾向が認められない場合は外科的療法等を考慮してください。

フィブラストスプレー情報サイトのご紹介

医療関係者向フィブラストスプレー情報サイト（URL:http://fiblast.jp/）では、フィブラストスプレーの使い方、FAQ、創傷治癒に関する文献などを掲載しています。服薬指導等にお役立てください。

薬剤師の皆様へ　この頁は先生方が医療関係者へ情報伝達する場合および患者さんに服薬指導される場合の参考資料として作成したものです。詳細については必ず最新の添付文書、インタビューフォームなどをご覧ください。　▶ 本誌p.51参照